

株式会社 **プロシップ**

(証券コード：3763)

2017年3月期
決算説明会

2017年5月24日

会社概要

社名	株式会社プロシップ 東証2部：3763
設立	1969年4月
資本金	431百万円
代表取締役社長	川久保 真由美
従業員数	164名(連結171名)
事業内容	パッケージシステム開発販売 受託開発 運用管理
グループ企業	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海

沿革	
1969年4月	システムコンサルを主要業務として、資本金150万円にて設立
1978年6月	会計システムパッケージ『ASPAC-I』を開発・販売
1980年3月	総合固定資産管理システムパッケージ『FASPAC-I』を開発・販売
1994年7月	総合情報システム『ProPlusシリーズ』を開発・販売
2005年3月	ジャスダック証券取引所(現JASDAQ市場)に上場
2005年4月	中国大連市にプロシップ大連設立
2006年5月	株式会社プロシップフロンティア設立(日本バイナル社より営業譲渡)
2011年4月	受託・運用管理等事業を子会社(株)プロシップフロンティアに事業譲渡
2012年4月	ProPlusグローバル対応 本格展開開始
2013年4月	中国上海市にプロシップ上海設立
2013年8月	現物管理ソリューション『ProPlus Pit』開発・販売
2013年10月	賃貸借契約管理システムパッケージの新ソリューションを開発・販売
2015年1月	ProPlus導入社数4,000社達成
2015年6月	『ProPlus保守管理システム』を開発・販売
2016年4月	新バージョン『ProPlus固定資産システムVer6.0』を開発・販売
2016年10月	東京証券取引所 市場第二部に市場変更

ProPlusシリーズラインナップ

総合固定資産管理ソリューション

固定資産システム

リース資産管理システム

賃貸借契約管理システム

建設仮勘定サブシステム

棚卸サブシステム

設備発注システム

現物管理ソリューション

ProPlus Pit

販売管理ソリューション

販売管理システム

保守管理システム

新バージョン 2016年4月リリース完了

資産管理の未来がここに

VERSION 6 DEBUT

4000社を超える導入実績のノウハウが結集。
統合固定資産管理システム決定版!!



制度改正対応 2017年1月リリース完了

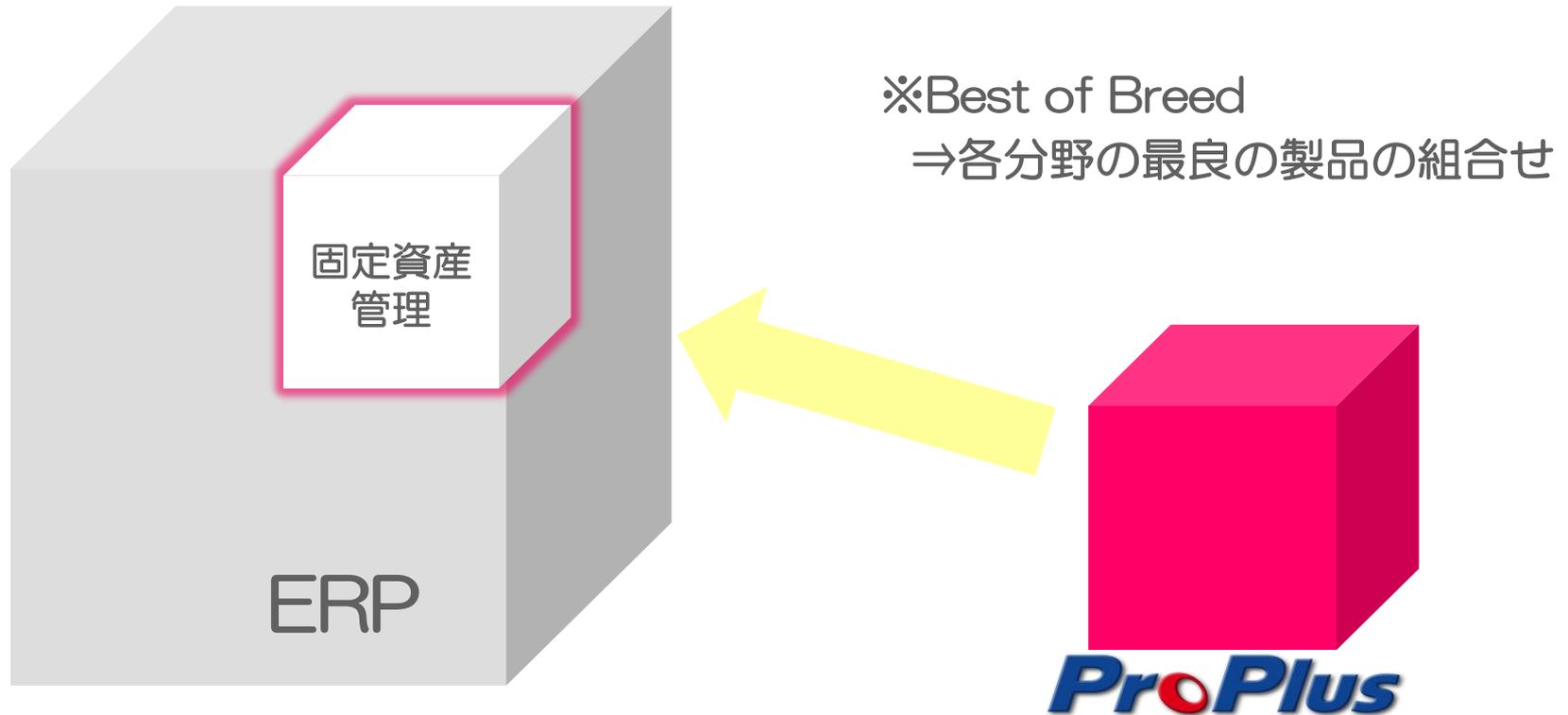
IFRS新リース会計対応版リリース!

IFRS16号に対応したリース資産管理システムを1月30日にリリースいたしました。
使用権資産とリース債務の一元管理を実現し、
1契約に対して複数基準対応と自動判定機能を実装いたしました。

[製品情報](#)



“Best of Breed” で価値を訴求



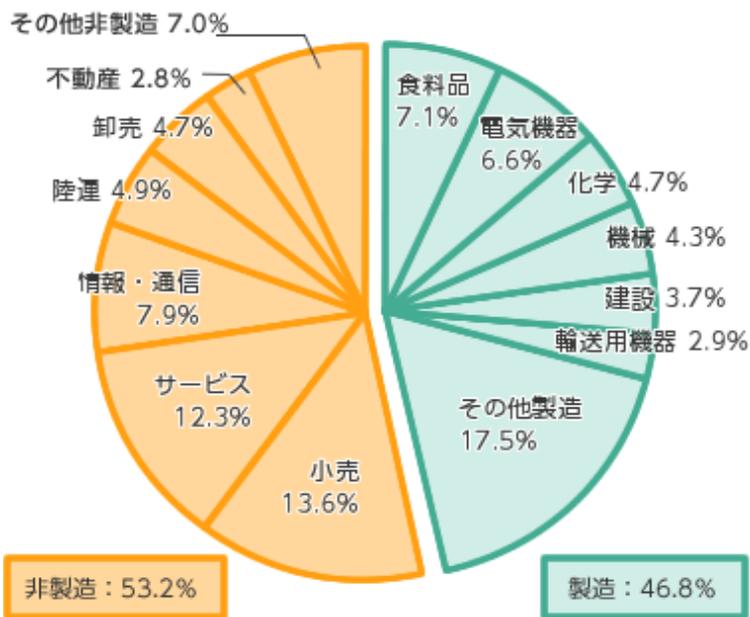
制度改正が多く、システム対応を求められる頻度の高い固定資産管理の分野を、ERPから切出して、専門システムを組み合わせることで、システムの品質確保と高い機能網羅性を実現します。

ProPlusシリーズの導入実績

ProPlusは上場企業を中心に、あらゆる業種、業態、規模の企業に幅広く導入されています。

ProPlusシリーズ **4,518社** 導入
(2017年3月31日現在)

【ProPlusの顧客業種】



※証券取引所の定める新業種区分（33業種）

全ての企業に導入を頂いております。

業種	売上高ランキング におけるProPlus導入社数
食品業	上位20社中 11社
繊維製品	上位20社中 12社
化学	上位20社中 10社
小売業	上位20社中 11社
建設業	上位20社中 9社
鉄鋼	上位20社中 8社
情報通信業	上位20社中 8社
陸運業	上位16社中 7社
倉庫・運輸関連業	上位10社中 5社
不動産業	上位10社中 5社
電気機器	上位10社中 4社
精密機器	上位10社中 5社
非鉄金属	上位10社中 5社
ガラス・土石製品	上位5社中 2社
海運業	上位 5社中 3社
水産・農林業	上位 5社中 2社

優良顧客基盤を活かしたアプローチ

中堅、大手市場企業をメインターゲットに営業展開



全業種のリーディング企業に導入



中日新聞社

TERUMO

Takashimaya

株式会社 まごころこめておつきあい
サカイ引越センター



SHIN-KEISEI
Shin Keisei Electric Railway Co., Ltd.

株式会社 大塚商会

AJINOMOTO.

亀田製菓株式会社



RYOBI
「くらしこち」がテーマです。

SAPPORO

AsahiKASEI

YAHOO!
JAPAN

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

楽天銀行

新生銀行

DeNA



KINTETSU

NISSIN
HOLDINGS

ISUZU

Sony Music

DAIHATSU

Fujikura

DUSKIN.
喜びのタネをまこう

KOBELCO



楽しい！がココにある
マツダレンタカー

松屋

Paraca

NISSHINBO

おいしさを笑顔に

KIRIN

TDK

日本板硝子

人がつくる。人でつくる。



戸田建設

ADK

odakyu

ニフレイ

紀文

中部電力

キョクヨー

YONEX



エネルギー・資源・素材のXを。
JX日鉱日石金属

I 2017年3月期 連結業績

II 2018年3月期 連結業績予想

2017年3月期 決算ハイライト

企業のIFRS（国際会計基準）対応の動き等から、受注が好調となり、

対前期比 売上高 **15.3%増収**、経常利益 **26.0%増益**

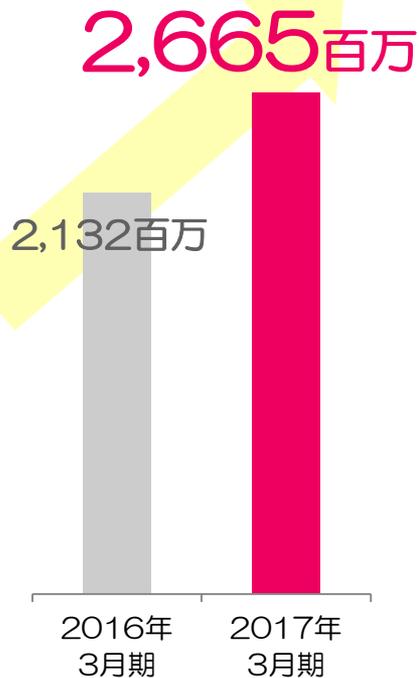
	2016年3月期	2017年3月期	前期比 増減率
売上高	3,566百万円	4,112百万円	15.3%
営業利益	1,245百万円	1,544百万円	24.0%
経常利益	1,250百万円	1,575百万円	26.0%
経常利益率	35.1%	38.3%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	817百万円	1,061百万円	29.9%

品目別売上高 前期比較

- 「パッケージ」は、企業のIFRS（国際会計基準）対応等の動きから増収
- 「保守」は新規ユーザの増加、保守料の単価アップから増収
- 「受託開発」、「運用管理等」は顧客の予算動向の影響から減収

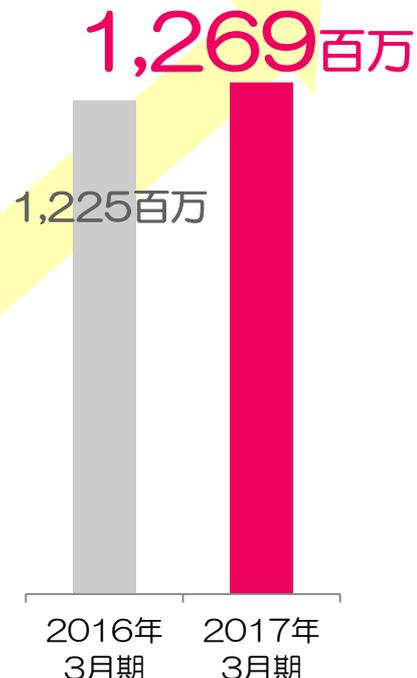
パッケージ

前期比 +25.0%



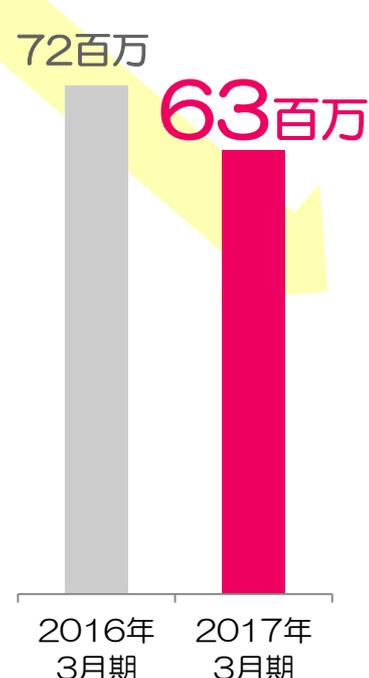
保守

前期比 +3.5%



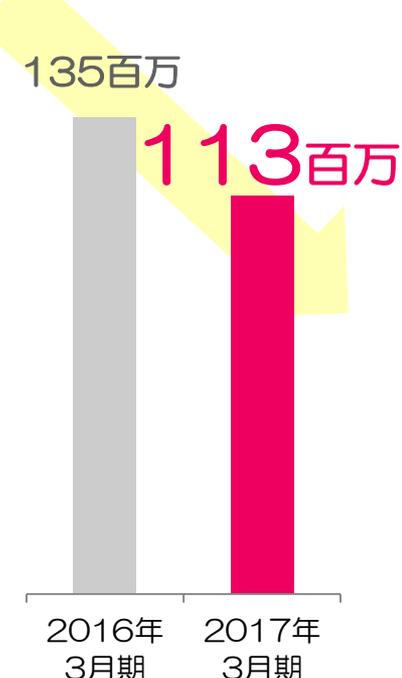
受託開発

前期比 ▲12.0%



運用管理等

前期比 ▲16.1%



品目別受注実績 前期比較

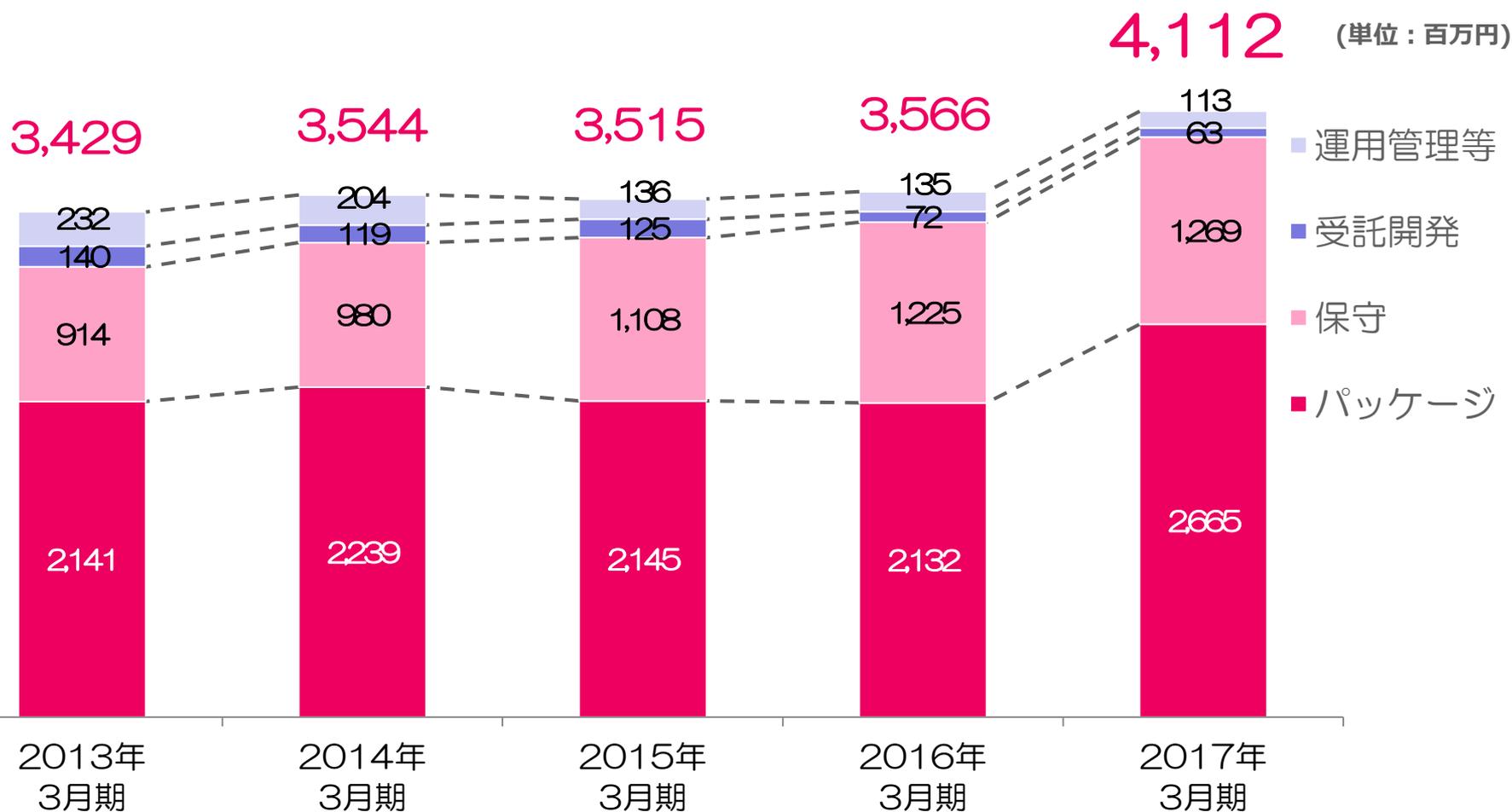
企業のIFRS（国際会計基準）対応の動きや、グローバルでの経営管理統一、業務効率化等を契機としたシステム刷新の動きが拡大し、

対前期比 受注高**26.5%増**、受注残高**16.8%増**

2017年3月期				
品目	受注高	前期比 増減率	受注残高	前期比 増減率
パッケージ	2,909百万円	32.6%	1,040百万円	30.5%
保守	1,436百万円	26.2%	1,860百万円	9.9%
受託開発	72百万円	15.3%	16百万円	105.2%
運用管理等	123百万円	▲36.6%	70百万円	15.8%
合計	4,541百万円	26.5%	2,987百万円	16.8%

品目別売上高の推移

2017年3月期は、過去最高の売上高を記録

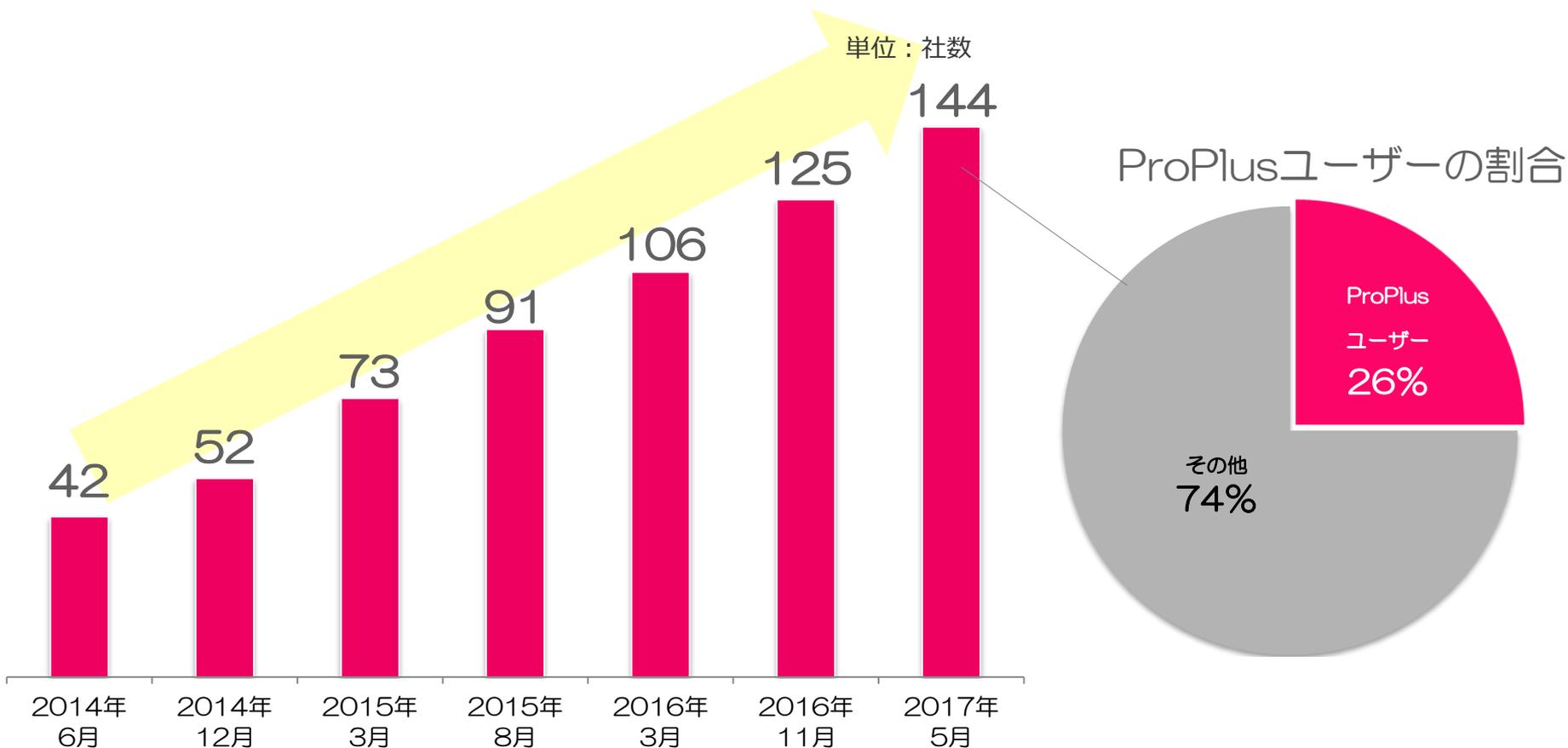


I 2017年3月期 連結業績

II 2018年3月期 連結業績予想

IFRS適用社数の増加

2017年5月現在において、上場企業の144社が適用済、または適用決定と表明しており、その数は年々増加傾向にある



出典：東証HP IFRS適用済・適用決定会社一覧（5/16時点）

IFRS新リース会計対応版のリリース

IFRS新リース会計対応版リリース！

IFRS16号に対応したリース資産管理システムを1月30日にリリースいたしました。
使用权資産とリース債務の一元管理を実現し、
1契約に対して複数基準対応と自動判定機能を実装いたしました。

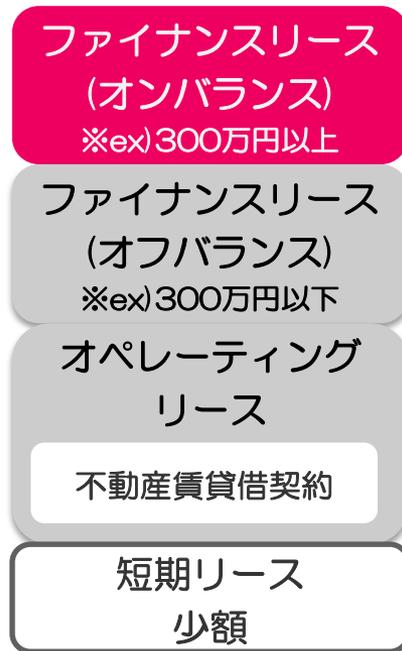
製品情報 ▶

業界に先駆けて、2017年1月30日にIFRS（国際会計基準）の新リース会計に対応した製品をリリース。
制度改正等に市場一番乗りすることで、顧客へ使い続ける価値を提供します。

IFRS新リース会計による影響

IFRSリース会計の変更により、企業の管理対象となる資産件数が増大
システムの刷新検討を進める企業が増加

従来のリース会計

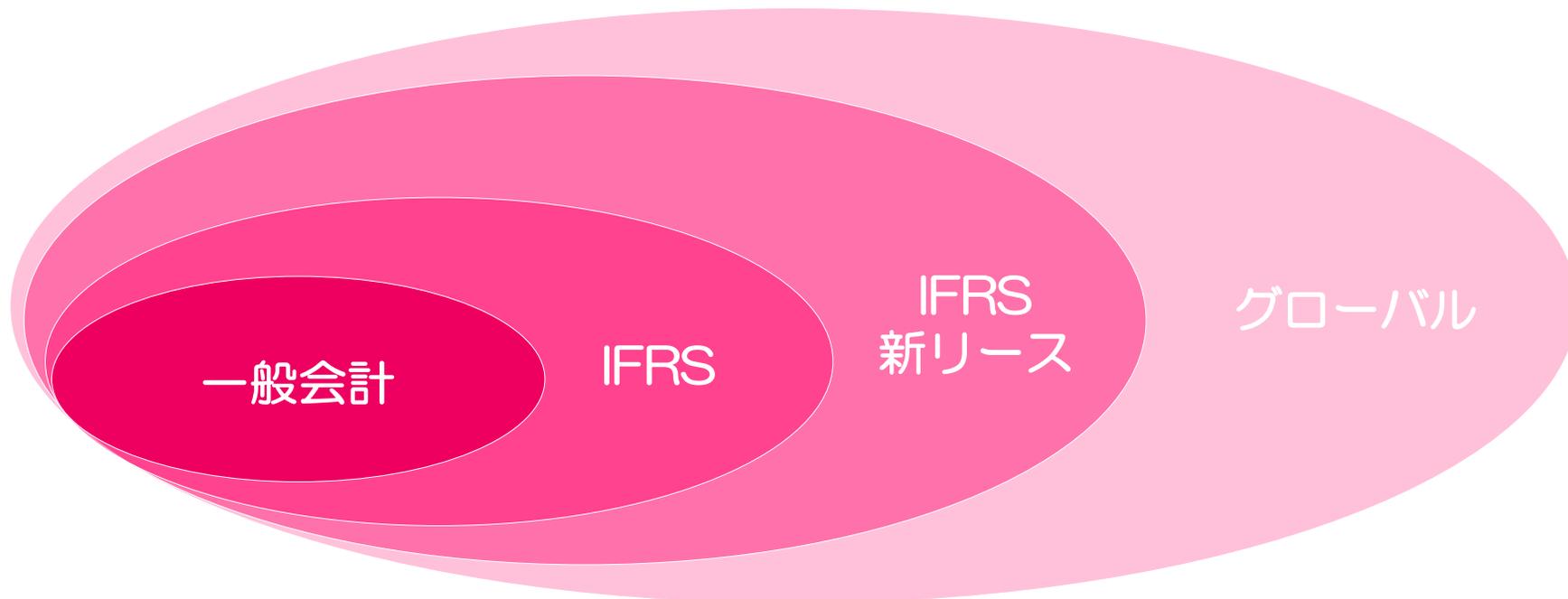


新リース会計



※今後はオペレーティングリースに係る支払リース料や不動産賃貸借契約に係る賃借料も単一の会計処理とし、原則オンバランス処理をする必要がある

顧客業務の増加とシステム化ニーズの拡大



顧客業務の煩雑化・複雑化に伴うシステム化ニーズに対して、製品対応や機能強化により、製品Fit率を維持・拡大し、ProPlusを拡販します。

開発生産性向上への取り組み

世界の競合に負けない高い生産性を実現

付加価値
向上

3. 付加価値向上

専門力を磨き、高付加価値領域を創る

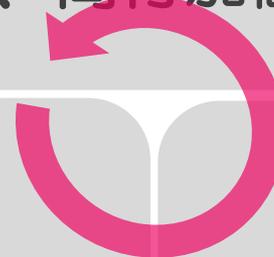
生産性
向上

1. 集中

役割を分担し、
専門力に集中する

2. 生産性向上

専門力を磨き、
生産性を高める



顧客に使い続ける価値を提供

一次対応

お問い合わせを受けてから
1時間以内での一次対応

達成率

99.7%

最終回答

お問い合わせを受けてから
24時間以内にクローズ

達成率

91.8%

顧客からお問い合わせを受けてから、99.7%のケースで専任スタッフによる1時間以内での一次対応が完了。顧客に使い続ける価値を提供いたします。

2018年3月期 通期業績予想

ライセンス売上が多く計上された2017年3月期と比較して、
2018年3月期は、導入開発作業の本格化により粗利が相対的に低下。

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比 増減率
売上高	4,112百万円	4,300百万円	4.6%
営業利益	1,544百万円	1,417百万円	▲8.3%
経常利益	1,575百万円	1,450百万円	▲8.0%
経常利益率	38.3%	33.7%	—
当期純利益	1,061百万円	970百万円	▲8.6%

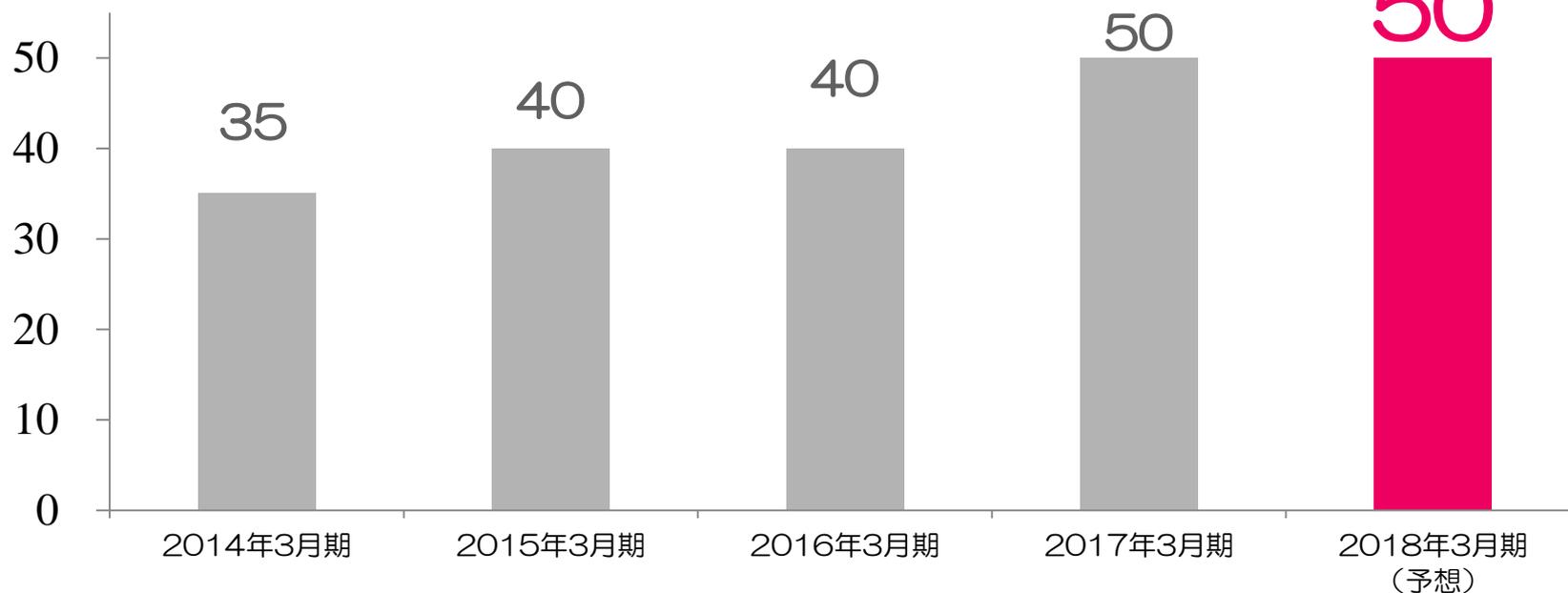
2017年3月期 配当予想

配当方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組みます

1株当たり配当額

(単位：円)



※2017年3月期、2015年3月期は、記念配当を含んでおります。

※2014年3月期に株式分割（1⇒2株）を行ったと仮定しております。

株主優待制度について

2017年3月期より、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、当社株式を中長期的に保有していただける株主様の増加をはかることを目的に、株主優待制度を導入しております。

保有株式数	優待内容
1单元（100株）以上 5单元（500株）未満	クオカード1,000円分
5单元（500株）以上	クオカード2,000円分

※対象となる株主様

毎年3月末日の株主名簿に記載された、当社株式1单元（100株）以上を保有されている株主様を対象としております。

本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : kanri@proship.co.jp

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。